

令和 7 年度 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

会議資料

- 令和 6 年度～令和 7 年度の運営状況……………1～3
- 令和 8 年度運営方針（案）……………4～5
- 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会委員名簿……………6

松江ホーランエンヤ伝承館

令和6年度～令和7年度の運営状況

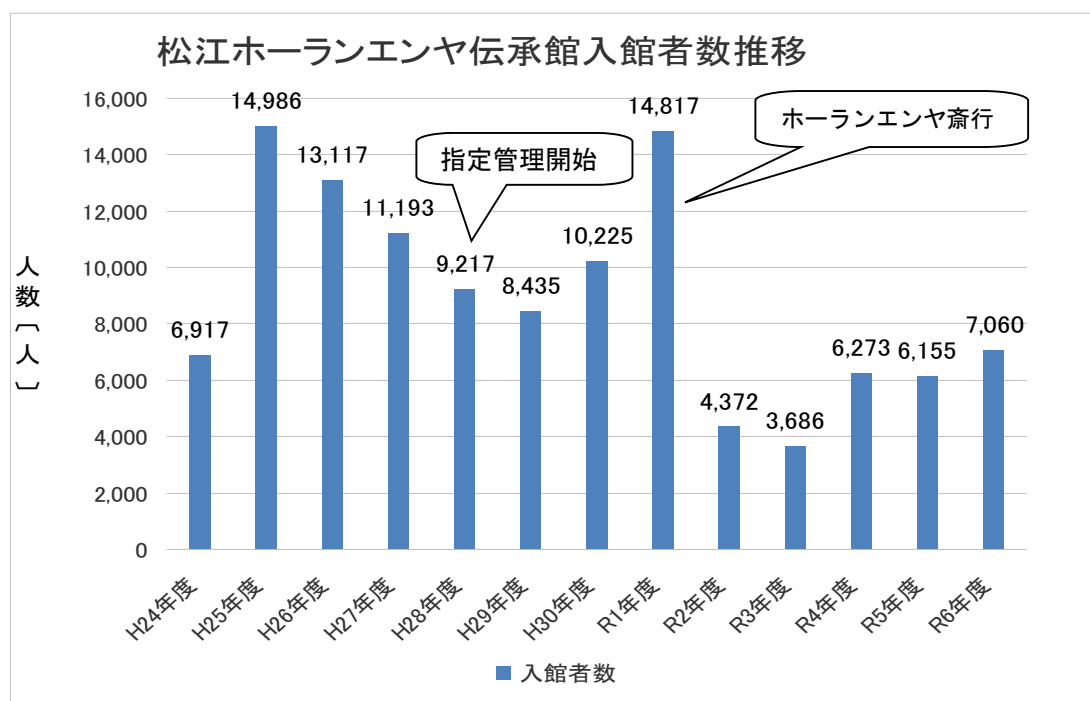
1 運営形態

●指定管理者による運営（一部は市の直営）

- ・指定管理者 株式会社さんびる
- ・指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日
- ・業務分担 学芸部門を除いた業務全般（施設管理、受付・案内、広報・誘客など）
- ・令和7年度の管理経費予算（単位：千円）

人件費	2,382
事務・事業費	710
施設維持管理費（光熱水費・修繕費等）	1,799
合計	4,891

2 入館者数



●令和6年度実績：7,060人（対前年115%）

→令和5年度6,155人と比べ令和6年度は905人増加している。特に11月は学校の観覧数の増加により、昨年度と比べ619人増加した。松江歴史館からの誘導率は10.8%で、令和5年度の13.5%と比べ減っている。外国人の入館者数については、240人で令和5年度148人に対して162%増加した。特に中国や台湾等の東アジアからの観覧が多かった。

●令和7年度実績（4月～12月）：5,650人（対前年97.8%）

→令和6年12月末時点 5,775人と比べ令和7年度は125人減少した。今年度は学校の授業で利用来館する学校数が減ったことが要因の1つと考えられる。松江歴史館からの12月末までの誘導率は10.1%で、令和6年度の11.0%と比べ減少している。松江歴史館の受付で、観覧者に対し、同日に松江ホーランエンヤ伝承館を観覧する場合、無料となる旨を伝える取組を行っている。この取組を継続して実施し、また、企画展示を行っていることも広報し、誘導率の増加を図りたい。

また、12月末時点の外国人の入館者数については、令和7年度の223人に対し、令和6年度は182人で41人増加している。松江歴史館では、外国人に対し松江ホーランエンヤ伝承館のチラシを配っている。このことも外国人が増加した一因と考えられる。

3 主な取り組み

（1）教育普及

○松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」（松江市教育委員会主催）

※全市立小・義務教育学校6年生を対象に実施

1) 児童向けリーフレット「松江ホーランエンヤ伝承館でホーランエンヤについて学ぼう！」を全員に配布

2) 松江ホーランエンヤ伝承館を見学した小学校

①令和6年度見学数 19校 1,102人

（八雲小・大野小・出雲郷小・内中原小・古志原小・雑賀小・宍道小・忌部小・

揖屋小・島根小・朝酌小・本庄小・来待小・持田小・大庭小・秋鹿小・玉湯学園・津田小・川津小）

②令和7年度見学数 12校 747人

（出雲郷小・古志原小・宍道小・忌部小・揖屋小・島根小・朝酌小・玉湯学園・津田小・八束学園・中央小・鹿島東小）

○出前講座

学校教育課を通し、松江市内の小学校へホーランエンヤについて松江歴史館職員が出前講座を行う旨を周知した。総合的な学習の一環として講座の申し込みがあり、職員が説明を行った。

①令和6年度 1校 竹矢小学校（3年生）

②令和7年度 2校 竹矢小学校（3年生）、朝酌小学校（4年生）

○インタビューの対応

インタビューの依頼があり、職員が対応をした。

①令和6年度 9校 松江市立第2中学校、松江市立第3中学校、松江市立第4中学校、湖南中学校、美保関中学校、玉湯学園、安来市立第2中学校
母衣小学校、松江清心養護学校

②令和7年度 5校 米子高等専門学校、玉湯学園、母衣小学校、仁多中学校、湖東中学校

（2）展示

○令和7年度

「權伝馬船を彩る巨大な飾り」の開催

内容：松江城山稻荷神社式年神幸祭「ホーランエンヤ」の船行列でひとときわ目を引くのは五大地のきらびやかな櫓伝馬船である。五大地の中でも一番大きい櫓伝馬船は馬潟地区の船で全長 15mあり、船に備わっている幟など非常に大きい。伝承ホーランエンヤ馬潟櫓伝馬保存会から借用した船の装飾品の実物（擬宝珠、大幟、吹き流し、提燈と提燈台など）を展示し、櫓伝馬船の大きさを伝えた。

期間：令和 7 年 8 月 5 日（火）～同 8 年 7 月 20 日（月・祝）

場所：松江ホーランエンヤ伝承館 展示兼多目的スペース



展示している櫓伝馬船の飾り



（３）情報発信

○令和 6 年度

- ①ホームページに松江のホーランエンヤの記録選択について、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（以下、「記録選択」という）の制度概要と内容について掲載し、情報発信を行った。
- ②ホームページに平成 21 年・令和元年のホーランエンヤの様子を撮影した動画を掲載した。

○令和 7 年度

- ①ホームページに松江市指定「ホーランエンヤ櫓伝馬踊り」について掲載し、情報発信を行った。

（４）施設の維持管理

○令和 6 年度

中庭の櫓伝馬船の塗り替え・酒樽の台座の部分修理を行った。

○令和 7 年度

ホーランエンヤ伝承館の LED 化改修を行った。

松江ホーランエンヤ伝承館

令和 8 年度運営方針（案）

市民に親しまれる施設を目指し、関心や理解が深まるような取り組みを引き続き行うとともに、効果的な広報を行い、入館者数の確保に努める。

次期ホーランエンヤの催行に向け、機運を高める取組みを計画的に行っていく。

館全体の運営方針

※松江市

○入館料の料金改定について

次世代を担う小・中学生が水都松江市の誇るホーランエンヤへの理解を深めるために、令和 8 年 7 月 1 日より、市内外の小・中学生の入館料を無料とする。

教育・普及

※松江市

○松江城授業プロジェクト

リーフレットの配布・見学案内を行う。

○出前講座

「松江のホーランエンヤ」についてのテーマを入れ、希望があった団体に対して職員が出張講座を開催する。

展示

※松江市

○多目的スペースの展示替え

多目的スペースの展示替えの計画を立て、実施していく。（別紙 1 参照）

利用促進

※指定管理者

○HP、SNSの積極活用による施設情報の提供

○営業訪問・広報による利用促進

県内外の旅行会社、観光関連施設などへ訪問予定

○館内案内表示などの随時改善

○年パス購入促進キャンペーン実施（年 1 回）

○誘客イベントの開催

○宿泊施設、観光施設等との連携

○松江歴史館入館者の伝承館への誘導強化

※松江市

○チラシ作成

展示「榎伝馬船を彩る巨大な飾り」についてチラシを作成し、松江歴史館観覧者等に配布する。

施設管理

※指定管理者

○設備機器・庭園管理などの維持管理

委託業者と連携し、設備機器・庭園管理など仕様に沿って適切に維持管理を行う。
修繕する際は、松江市と協議した上で実施する。

接客・対応

※指定管理者

新型コロナウイルス等感染症に注視しながら感染予防に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設管理を行っていく。またスタッフ研修や半期ごとに、施設アセスメントを実施。利用者満足の向上の為に運営業務見直しや、改善活動の行動計画を立て、質の高い接客を目指していく。

○施設アセスメントの実施（年２回）

○ボランティアスタッフ研修の実施

松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	備 考
委員長	浅沼 政誌	松江市文化スポーツ部文化財課 歴史資料専門調査員
副委員長	松浦 哲次	伝承ホーランエンヤ矢田保存会長
委員	飯塚 真敏	伝承ホーランエンヤ馬潟権伝馬保存会副会長
委員	野津 照雄	伝承大井ホーランエンヤ保存会長
委員	稲場 英司	福富ホーランエンヤ保存会長
委員	古藤 弘巳	大海崎伝承ホーランエンヤ保存会長
委員	安部 登	元松江郷土館長
委員	花形 泰道	松江商工会議所専務理事

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日